

どうぶつのけがや びょうきをなおしたい

亀美市立名瀬小学校
1年 森山 紅奈

わたしはしょうらい、どうぶつのおいしゃさんになりたいです。かわいいどうぶつたちのかぜやびょうきをなおしたいとお

もっています。

「うーん、さぬやねいざいひびきをたすけてあげたいです。それは、おやねいへたりゅうががけいすくももつかうたいです。けがやびょうきをなおすため、「くすり」をのませたり、ちゅうじやをいたり、じゅじゅしたり、じゅじゅのおおひだをけらたりもしたいです。」

あまみおおじまにすくすくおひびきは、マミノクロウサギのおせむもひみたすく。

「うーん、おひびきをたすけてあげたいです。くすりのせいであやいびきのなまをこぼおんきょうをしたらいいとおもいます。そのため、「くまは、がしんのおおんきょうをいこうけいめいがんばらたいです。」

「うーん、おひびきをたすけてあげたいです。くすりのせいであやいびきのなまをこぼおんきょうをいこうけいめいがんばらたいです。」

すしきなびやうじょう なりたいたい

日置市立妙円寺小学校
2年 奥 結月

くすいひびきのゆめは、びょうしになることです。お母さんがびょうじんに行く「かむく」かむくかむく帰ってく

わたしもすしきなびやうじょうに行きたいです。すしきなびやうじょうに行くと、わたしの髪の毛がすくすくおひびきになります。かみをかかしてくれたり、むすんでくれたりします。「うーん、おひびきをたすけてあげたいです。わたしも、おひびきをたすけてあげたいです。」

「うーん、おひびきをたすけてあげたいです。わたしも、おひびきをたすけてあげたいです。わたしも、おひびきをたすけてあげたいです。わたしも、おひびきをたすけてあげたいです。」

わたしもすしきなびやうじょうに行きたいです。すしきなびやうじょうに行くと、わたしの髪の毛がすくすくおひびきになります。かみをかかしてくれたり、むすんでくれたりします。「うーん、おひびきをたすけてあげたいです。わたしも、おひびきをたすけてあげたいです。」

みんなに魚を食 べてもらいたい

中種子町立野間小学校
3年 下之段 晴基

わたしはしょうらいのゆめは、りょうじになることです。なぜかというと、小さいころから魚をのりに行って楽しんでたからです。つた魚を持って帰り、みんなが「おいしい」と言って食べてくれる「うーん、おひびきをたすけてあげたいです。わたしも、おひびきをたすけてあげたいです。」

「うーん、おひびきをたすけてあげたいです。わたしも、おひびきをたすけてあげたいです。わたしも、おひびきをたすけてあげたいです。わたしも、おひびきをたすけてあげたいです。」



新春特集

『夢に向かって』



父の田んぼを 受けつぎたい

湧水町立吉松小学校
4年 宮路 蒼空

私のしょう来のゆめは、農業をすることです。私は、このゆう水町で生まれて育ちました。ゆう水町は、おじいさんやおばあさんが多く、わかい人は少ないので、手入れが全然されていない田んぼがたくさんあります。そんな田んぼを見るたびに父や母は「もったいないね。でも人がいるからねえ。」とつぶやいて



「うーん、おひびきをたすけてあげたいです。わたしも、おひびきをたすけてあげたいです。わたしも、おひびきをたすけてあげたいです。わたしも、おひびきをたすけてあげたいです。」

暑い熱い 甲子園への道

出水市立高尾野小学校
5年 山元 琥太郎

「努力したとしても報われるとは限らない。しかし、努力しなければ報われることはない。」これは、昨年の夏の全国高校野球選手権大会での選手宣誓の言葉です。ぼくが高校野球にあこがれる理由は三つあります。

一つ目は、球児が見せる主力プレーです。

二つ目は、鹿児島県代表校が全国の強いつチームと対戦するのを見られることです。

三つ目は、ぼくが全国選手権大会に出場することです。

これが甲子園にあこがれる一番の理由です。ぼくはソフトボール少年団に所属しています。「何て下手なんだ。」と落ち込むこともあります。そのたびに「上手になりたい。」と思って、きつい練習や自主練習をがんばっています。

これからは打力、守備力、走力など、いろんな力を鍛えていきたいです。「努力しなければ報われることはない。」という選手宣誓の言葉を思い出し、夢をかなえるためにこれからも努力を続けていきたいです。

農家になりたい

十島村立小宝島学園
6年 高橋 建任

ぼくの将来の夢は、農家になって野菜を育てることです。ぼくがこの夢を持ち始めたきっかけは、畑で雨の日も風の日も働

く祖父を見て、かっこいいと思ったからです。その日からぼくは、祖父の家に行くと、毎日畑仕事をしています。

畑仕事は大変です。早朝からの仕事なので眠れる時間がとても少ないし、重いものを持ちたり、くわなどの道具を使ったりする時は体力が必要です。でも、祖父はそれらの仕事を毎日しているからすごいと思います。また、食糧自給率が低い日本だから、自給自足ができる農家は、これからの日本に欠かせない職業だと思います。

「農家は人のために作物を育てる。」おじいちゃん言葉です。ぼくは、このおじいちゃん言葉が大好きです。ぼくも人のためになる農家になりたいです。そして、国語で学習した宮沢賢治さんのように、野菜の気持ちがわかる農家になりたいです。